



季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター

梅雨時のお洗濯を快適に!



ジメジメ蒸し暑いこの季節。洗濯における悩みや疑問が多くなる時期でもあります。梅雨の時期に多く寄せられるお悩みについてまとめてみました。参考にしてみてください。

ご相談案件その①「部屋干し独特の、生乾きのニオイに困っています」

ニオイの原因は、モラクセラ菌の排泄物。洗濯物が濡れている時間が長ければ長いほど菌が繁殖しやすくなるので、短時間で乾かすことがポイントになります。エアコンや除湿器などを有効活用しましょう。すっきり乾かないときは、最終仕上げにアイロンをかけるのもおすすめ。見た目が美しくなるだけでなく、着心地もよくなり、アイロンの熱で殺菌もできるので一石三鳥です!

ご相談案件その②「汗をかいた服、すぐに洗えないときはどうしたらいいですか?」

汗をかいた衣類には、雑菌の繁殖・カビ発生・黄ばみなど、さまざまな心配がつきものです。“高温多湿+汗(栄養)=雑菌やカビにとって最高の繁殖環境”なので、この時期はこまめに洗濯するのが理想的。でも、着替えるたびに洗濯をするわけにもいきません。そんな時は、洗面器やバケツに水をため汗のついた衣類を浸けておき、その後いつも通りに洗濯をすればOK!

※水洗いができない衣類や色落ちする衣類の浸け置きは不可。洗濯表示を必ず確認してください。「すぐに干せないけど、とりあえず洗濯機回しておくか!」という方もいるかもしれませんが、これはNGです。①のお悩みが発生する原因になりますので、おすすめできません。

ご相談案件その③「乾きやすい干し方を教えてほしい」

表面積が広がると短時間で乾きます。シャツの襟を立てて重なりをなくしたり、ズボンは筒状にしたり裏返したりすると効果的。ピンチハンガーや連なったハンガーを使う場合は、外側に乾きにくい厚手のものを干すこともポイントです。扇風機やサーキュレーターで空気の流れを作り、時々位置を変えてまんべんなく風を当てると、室内干しでも乾燥時間を短縮することができます。



ニオイが気になるからといって洗剤や柔軟剤の量を増やすと…

◆すすぎ残りが黄ばみ・黒ずみ・ニオイのもとに。

◆洗濯槽に洗剤カスが付着し汚れ・カビ・ニオイのもとに。

良かれと思ってやっていたことが、逆効果になることも。悩みを解消するためには、その原因を知り正しく対策することが大切です。「これはどうしたら?」と疑問に思ったら、なんでもご相談ください。

持続可能なファッションって何だろう



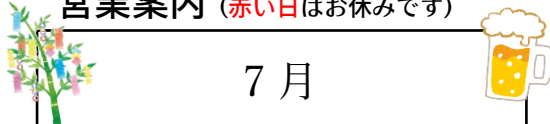
『SDGs』や『サステナブル』など、環境への意識がますます高まる中、『アップサイクル』という新たな言葉も耳にするようになってきました。アップサイクルとは、不用品の素材や形状を活かして新しいものに作り変えること。さまざまなブランドがアップサイクルの製品づくりに着手し始めています。衣服も販売されているので、みなさんも今後購入する機会があるかもしれませんね。

環境に配慮した製品を購入することだけでなく、今手元にあるものを活かすことも『持続可能なファッション』と言えるでしょう。着なくなった服でバッグやポーチを作ったり、複数の服を組み合わせる新たなデザインの服に生まれ変わらせたりと、わたしたち自身の手でできるアップサイクルもあります。紺新のお客さまの中には、骨の折れてしまった傘をそのまま捨てず、生地を使ってエコバッグを作ったという方も。「生地はまだきれいだし、使えるのに捨てたらもったいないもんね!」と。とても素敵なアイデアだと思いました。みなさんの手元にも、もう着ないけれど柄や生地が気に入っていて捨てることのできない服はありませんか?服としてではなく生地として、またはボタンやポケットなどをパーツや部品として考えてみると、新たにいろいろなものが生み出せるのではないかと思います。これからの暮らしに取り入れてみてはいかがでしょうか。



7月1日より“おさがりプロジェクト”の概要(主に取り扱い品目)が変更になります。詳細はクリーニングの紺新ホームページでご確認ください。上部のQRコードからどうぞ。

営業案内 (赤い日はお休みです)



7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

OPEN*9:00-CLOSE*19:00

★7月30日(土)は都合により17:00閉店

※お休みや営業時間は変更になることがあります